

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	国語	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	72 単位時間
年間指導目標	(知)日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができるようにする。				
	(思)日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。				
	(学)言葉がもつよさを感じ、言語感覚を養い、思いや考えを伝え、受け止めようとする態度を養う。				
	※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:熊谷賢二、後藤理沙、新田真、長岡優花 学校介護職員:中山潤、阿部由香梨				
使用教科書	改訂新版 くらしに役立つ 国語(東洋館出版)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標(評価の観点)	
					(知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 習に取り組む態度	(主)主体的に学
一 学 期	4	自己紹介	6	○自己紹介をする場面を考え、情報を整理する。 ◆自分のことを相手に伝えるために、伝える内容を選び、順序よく整理することができる。	(知)発表内容を簡単な言葉でまとめて伝える。 (思)自分に関わる出来事を順序どおりにまとめる。 (主)発表内容を相手に伝えようとしたり、受け止めようとしたりしている。	
	5	辞書を使う	8	○紙やインターネットの辞書を使い、日常生活でよく使用する単語や興味のある言葉の意味を調べてまとめる。 ◆辞書を使って言葉の意味を調べ、自分なりに整理して理解することができる。	(知)見つけた言葉を調べて、その意味を知り、理解している。 (思)単語や文章を正しく発音したり書いたりする。 (主)すすんで、言葉を覚えたり調べたりしようとしている。	
	6	ことわざ	7	○身の回りにあるいろいろな言い回しの言葉やことわざの意味や使い方を学ぶ。 ◆身近な言い回しやことわざの意味や使い方を知り、生活の中で理解することができる。	(知)ことわざという表現方法があることを知る。 (思)たとえの言葉などの意味や使い方を理解し、具体的に表現する。 (主)すすんで、言葉を覚えたり使おうとしている。	
	7	インターネットで検索する	4	○インターネットを使って調べる、知りたい情報を検索する方法を学ぶ。 ◆インターネットを使って必要な情報を探す方法を理解し、調べることができる。	(知)インターネットを使って検索する方法を理解する。 (思)インターネットを使うときのルールや約束について考える。 (主)調べたことや考えたことを他者に伝え表現しようとしている。	
二 学 期	9	履歴書を書く	7	○自分についての正しい情報を確認する。履歴書、自己紹介カードを発表し、質問し合う。 ◆自分についての情報を整理・確認し、相手に分かりやすく伝えることができる。	(知)自分の情報を確認し、正しく表現することができる。 (思)自分の情報を整理し、相手に伝わるようにまとめている。 (主)友達の発表について、質問をするなど主体的に取り組んでいる。	
	10 前 半	旅行の計画	4	○旅行の計画をグループや個人で決めて、パンフレットやホームページにある資料を読み、行きたい場所についてまとめる。 ◆資料を読み取り、必要な情報を選んでまとめることができる。	(知)資料やインターネット等で調べて行きたい場所を決めることができる。 (思)友達の意見を聞いたり、自分の考えをまとめたりしている。 (主)資料を読んだり、調べたりして見どころなどを表現しようとしている。	

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	旅行の計画	4	○旅行の計画をグループや個人で決めて、パンフレットやホームページにある資料を読み、行きたい場所についてまとめる。 ◆資料を読み取り、必要な情報を選んでまとめることができる。	(知)資料やインターネット等で調べて行きたい場所を決めることができる。 (思)友達の意見を聞いたり、自分の考えをまとめたりしている。 (主)資料を読んだり、調べたりして見どころなどを表現しようとしている。
	11	電話をかける	6	○電話をかける際のルールやマナーについて学び、実践する。 ◆電話の基本的なルールやマナーを理解し、適切にやり取りすることができる。	(知)電話をかける際のルールやマナーを理解し、実践できる。 (思)模擬で電話をかける際に学んだことを活用できる。 (主)すすんで、学んだルールを生かしている。
	12	メールやメッセージアプリの使い方	7	○メールやメッセージアプリを使用する際のルールやマナーについて学び、実践する。 ◆メールやメッセージの基本的なルールやマナーを理解し、適切に伝えることができる。	(知)メールやメッセージアプリを使用する際のルールやマナーを理解し、実践できる。 (思)模擬でメールやメッセージアプリを使用する際に学んだことを活用できる。 (主)すすんで、学んだルールを生かしている。
二 学 期	1	お世話になった人にお礼の手紙を書く	6	○お世話になった気持ちを文章で表現する。 ◆感謝の気持ちを整理し、相手に伝わるように表現することができる。	(知)言葉や手紙の書き方の決まりを理解し、手紙の内容を分かりやすく書く。 (思)覚えた言葉や正しい表現を使い、伝えている。 (主)教師の促しに応じすすんで言葉で伝えようとする。
	2	詩に親しむ	7	○詩を朗読し、表現を楽しむ。 ◆詩を声に出して読み、言葉の響きや表現を楽しむことができる。	(知)詩を自分なりに抑揚をつけて朗読し、表現ができる。 (思)詩の持つ意味について考え、発表することができる。 (主)すすんで、発声したり、模倣したりしている。
	3	小説に親しむ	6	○物語を読み、登場人物の心情について考える。 ◆物語を読み、登場人物の気持ちに気付くことができる。	(知)物語の内容に沿った表現ができる。 (思)物語の言葉を模倣することができる。 (主)すすんで、発声したり、模倣したりしている。
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・質問に答えやすいように選択肢を用意する。 ・身近な内容の動画を使用し、単語や言葉をイメージできるようにする。 ・具体的な物を用いてイメージを広げられるようにする。 ・生徒の実態に合わせて、教材の提示方法やICT機器を工夫する。 ・個別課題学習は年間を通じて行う。生徒の実態に応じて教材や課題を用意して学習を進める。 	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	数学	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	72 単位時間
年間指導目標	(知) 数量や図形などについて概念を理解し、分類したり、簡単な計算をしたりする技能を身に付ける。				
	(思) 日常生活の事象を、ものの数や図形に着目し、具体物や図などを用いて表現する力を養う。				
	(学) 数学的活動の楽しさや、よさを感じ、学んだことを生活や学習に生かそうとする態度を養う。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:熊谷賢二、後藤理沙、新田真、長岡優花 学校介護職員:中山潤、阿部由香梨				
使用教科書	改定新版「くらしに役立つ 数学」(東洋館出版社)				

期	月	単元(題材)名	指導 時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標(評価の観点)	
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 的に学習に取り組む態度	(主) 主体
一 学 期	4	数と計算	6	○買い物などの日常生活の場面で必要な計算をする。 (大きい数、小数、分数、正の数・負の数、3桁以上の計算) ◆日常の具体的な場面を通して、数の概念(大きい数・小数・分数・正負)を理解し、実生活で活用できる。	(知) 生活に必要な数について理解し、電卓などを使って計算できる。 (思) 場面に応じた計算方法を考えて使うことができる。 (主) 日常生活で数や計算を使おうとする。	
	5	図形	8	○身近な場所、容器の面積や容積を計算する。(図形の基本・多角形、円、立方体・立体、面積・体積) ◆身近な場所や容器を題材に、面積・容積の求め方を身に付け、実生活で適切に活用する。	(知) 基本的な図形や面積・体積の求め方を理解する。 (思) 身近な物の形に注目し求め方を考える。 (主) 図形に関心をもち調べようとする。	
	6	測定	7	○日常生活で身近にある物の長さや重さを調べる。(長さ、重さ、単位の読み方) ◆日常生活にある物を測る活動を通して、長さや重さの単位を理解し、適切に使う。	(知) 長さ・重さの単位や測定方法を理解する。 (思) 目的に応じて適切な単位や道具を選び測定できる。 (主) 学習した内容を生活の中で活用しようとする。	
	7	変化と関係・データ活用	4	○表やグラフから変化と関係を考える。(表とグラフ、比例、速さ、平均) ◆データを整理・表現する活動を通して、変化の様子や相互の関係に着目し、考察する。	(知) 表やグラフの見方を理解する。 (思) 変化や関係を読み取り考える。 (主) データに関心をもち調べようとする。	
二 学 期	9	自分の身の回りのこと	7	○自分の生活習慣を管理するために、数や量に注目し、考える。(身体測定の結果、スポーツテスト) ◆身体測定やスポーツテストの結果を活用し、数値の変化や特徴を捉えて、自分の生活や健康について考える。	(知) 資料から情報を読み取り整理できる。 (思) 生活と関連付けて考える。 (主) 生活を見直そうとする。	
	10 前半	自分の身の回りのこと	4	○自分の生活習慣を管理するために、数や量に注目し、考える。(身体測定の結果、スポーツテスト) ◆身体測定やスポーツテストの結果を活用し、数値の変化や特徴を捉えて、自分の生活や健康について考える。	(知) 資料から情報を読み取り整理できる。 (思) 生活と関連付けて考える。 (主) 生活を見直そうとする。	

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	数と生活	4	○身近にある情報の中から数値を読み取り生活に生かす。（天気予報、広告、調理のレシピ、カレンダー） ◆天気予報や広告、レシピ、カレンダーなどの情報から必要な数値を読み取り、生活に生かす力を育てる。	(知) 天気や予定に関わる数や単位を理解する。 (思) 情報をもとに行動を考える。 (主) 自分で判断しようとする。
	11	数と生活	6	○身近にある情報の中から数値を読み取り生活に生かす。（天気予報、広告、調理のレシピ、カレンダー） ◆天気予報や広告、レシピ、カレンダーなどの情報から必要な数値を読み取り、生活に生かす力を育てる。	(知) 天気や季節、生活に関わる基礎的な事項を理解する。 (思) 天気予報をもとに、持ち物や行動を考え判断する。 (主) 日常生活に関心を持ち、主体的に考えて行動しようとする。
	12	数と外出	7	○出かける際の移動にかかる時間や、交通機関の料金を調べてまとめる。（図書館へ行く、友達と待ち合わせ） ◆外出に必要な時間や料金を調べる活動を通して、情報を収集・整理し、適切に判断する力を育てる。	(知) 時間や料金など生活に必要な情報の調べ方を理解する。 (思) 目的に応じて移動手段や計画を比較し、適切に選択する。 (主) 主体的に情報を集め、生活をよりよくしようとする。
二 学 期	1	数と外出	6	○出かける際の移動にかかる時間や、交通機関の料金を調べてまとめる。（図書館へ行く、友達と待ち合わせ） ◆外出に必要な時間や料金を調べる活動を通して、情報を収集・整理し、適切に判断する力を育てる。	(知) 時間や料金など生活に必要な情報の調べ方を理解する。 (思) 目的に応じて移動手段や計画を比較し、適切に選択する。 (主) 主体的に情報を集め、生活をよりよくしようとする。
	2	生活を豊かに	7	○毎月かかる生活費の種類を知り、どのくらいかかるのかを知る。（1か月の生活費、計画的な支出、荷物を送る、住居） ◆生活に必要な費用（住居費、食費、交通費など）について知り、1か月の支出の見通しをもつ力を育てる。	(知) 生活費の種類や支出について理解する。 (思) 収支のバランスを考え、計画的な使い方を判断する。 (主) よりよい生活のために主体的に金銭の使い方を考えようとする。
	3	将来の生活に向けて	6	○家から実習先までの道のりをルート検索アプリで調べ、経路にかかる時間や費用を比較する。 ◆実習先までの移動手段について情報を収集し、所要時間や交通費を比較して最適なルートを判断する力を育てる。	(知) 時間や費用の見方や調べ方を理解する。 (思) 複数の情報を比較し、適切な経路や方法を選択する。 (主) 将来の生活に向けて主体的に調べ、行動しようとする。
そ の 他	通年	個別課題学習	計算プリント		
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で使用する具体物を用いて、数の概念理解を促す。 身近な内容の動画を使用し、単語や言葉をイメージできるようにする。 具体的な物を用いてイメージを広げられるようにする。 個別課題学習は年間を通じて行う。生徒の実態に応じて教材や課題を用意して学習を進める。 実物の図形を用意し、視覚的にイメージがもてるようにする。 問題演習で反復学習を行う。 	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	音楽	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	37 単位時間
年間指導目標	(知)表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。				
	(思)曲のよさなどを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。				
	(学)音楽活動をする楽しさを感じるとともに、豊かな情操を培う。				
	※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:清宮衛介、熊谷賢二、後藤理沙、新田真、長岡優花 学校介護職員:中山潤、阿部由香梨				
使用教科書	クラス合唱用MYSONG 6訂版(教育芸術社)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標(評価の観点)
					(知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	季節の歌を歌う	3	○発声練習・歌唱 ◆友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う。	(知)音楽の雰囲気と構造などの関わりを感じ取り、歌唱、器楽の技能を身に付ける。 (思)音楽表現を考えることや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら、音や音楽を味わう。 (主)進んで音や音楽に関わる。
	5	色々な音の響きを感じとる	3	○楽器演奏 ◆音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する。	(主)進んで音や音楽に関わる。
	6	拍とリズム 手話歌	6	○リトミック ◆示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして身体全体を動かす。	(知)曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解する。 (思)表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 (主)協働して音楽活動をする楽しさを感じる。
	7		3	○手話歌 ◆示範を見て手を動かしたり、曲の雰囲気に合わせて歌ったり表現したりする。	
二 学 期	9	舞台芸術に触れる (オペラ、ミュージカル)	3	○音楽鑑賞 ◆鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴く。	(知)曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解する。 (思)曲や演奏のよさを見いだしながら、音や音楽を味わって聴いたり演奏したりする事ができる。 (主)様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。
	10 前半	旋律の特徴を感じ取る	1	○楽器演奏 ◆長調、短調などの音色や響きを感じ取り鑑賞したり、演奏したるする。	

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
二 学 期	10 後 半	鹿本音頭 日本の伝統音楽	1	○和楽器の演奏 ◆日本の伝統音楽を鑑賞し、和太鼓などを演奏する。	(知)音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付ける。 (思)音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聞く。 (主)主体的に楽しく音楽や音楽表現に関わり、協働して音楽活動を楽しむ。
	11	季節の歌	5	○季節の歌の歌唱 ◆範唱を聞いて歌ったり、歌詞を見て歌う。	
	12	バレエ鑑賞(くるみ割り人形)	3	○音楽鑑賞 ◆鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見出し、曲全体を味わって聴く。	
三 学 期	1	卒業式の歌 世界の音楽	2	○合唱 ◆友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う。	(知)音楽の雰囲気と構造などの関わり気付くとともに、歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付ける。 (思)音や音楽を味わって表現したり聞いたりすることができる。 (主)音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
	2		4	○世界の楽器の演奏 ◆各国に伝わる伝統音楽など、それぞれの特徴を知るとともに、それらを感じ取りながら鑑賞する。	
	3		3		
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに、その時使用する教材や生徒に合わせた補助具を用意する。 ・授業のスライドは大型モニターを使用して映す。本時の流れが分かるホワイトボードも併せて使用する。 	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	美術	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	74 単位時間
年間指導目標	(知)造形的な視点について理解し、材料や用具の扱い方などを身に付けるとともに、多様な表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。 (思)造形的なよさやおもしろさ、美しさ、そして表したいことについて考え、経験などを基とし、発想、構想するとともに、自分たちの作品や美術作品などに親しみ、自分の見方考え方を深めることができる。 (学)主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:熊谷賢二、後藤理沙、新田真、長岡優花、島田篤弘 学校介護職員: 中山潤、阿部由香梨				
使用教科書	うつくしい絵(偕成社)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標(評価の観点) (知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	【絵画】 花を描く	6	○花の色や形を観察する。 ○絵の具で花の絵を描く。 ◆花の色や特徴に気付き、色や道具を選んで表現することができる。	(知)花の色や形の特徴に気付き、表現するための技法を知る。 (思)表したい思いに合った、色や道具を選び、工夫して表現する。 (主)積極的に手や腕を動かして制作したり、自分や友達の表現のよさに気付く。
	5	【立体造形】 仮面	22	○世界の様々な仮面のデザインを知る。 ○作りたい仮面のイメージを決め、制作する。 ◆世界の仮面のデザインのおもしろさに気付き、作りたい仮面のデザインを発想し、材料や道具を選んで制作することができる。	(知)自分の表したいデザインに合う、材料や道具を選ぶ。 (思)世界の仮面デザインを鑑賞し、よさやおもしろさに気付く。自分の作りたい仮面のデザインを発想する。 (主)積極的に手や腕を動かして制作したり、自分や友達の表現のよさに気付く。
	6				
	7				
二学期	9	【映像メディア】 写真アート	6	○学校風景の中にある、好きな色・形・物などからテーマを決めて、写真をたくさん撮る。 ○撮影した写真の並べ方を工夫し、作品の見せ方を考える。 ◆テーマを決めて写真を撮り、撮影した写真の並べ方を考えて制作することができる。	(知)学校風景の中にある色や形について知り、気に入ったものを選んで自分の作品作りをする。 (思)参考作品を鑑賞し、自分の思いに合う並べ方を考えて写真アートを制作する。 (主)写真撮影や写真を並べる活動に興味をもち、積極的に活動する。
	10前半				

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	【映像メディア】 写真アート	6	○学校風景の中にある、好きな色・形・物などからテーマを決めて、写真をたくさん撮る。 ○撮影した写真の並べ方を工夫し、作品の見せ方を考える。 ◆テーマを決めて写真を撮り、撮影した写真の並べ方を考えて制作することができる。	(知)学校風景の中にある色や形について知り、気に入ったものを選んで自分の作品作りをする。 (思)参考作品を鑑賞し、自分の思いに合う並べ方を選んで写真アートを制作する。 (主)写真撮影や写真を並べる活動に興味をもち、積極的に活動する。
	11	【絵画】 干支の絵	14	○来年の干支である「羊」の絵を描く。 ○「羊」の毛の感じを表すのに適した道具を選ぶなど表現を工夫する。 ○「羊」がいる場所をイメージして、背景の色を決める。 ◆羊の特徴を感じ取り、特徴に合った描き方を工夫したり、背景の色や模様を選んで描いたりすることができる。	(知)羊の写真を見たり、鳴き声を聞いたりして、羊の特徴を感じ取る。特徴に合う描き方を工夫する。 (思)自分が描く「羊がいる場所」を選択肢から選び、その場所に合う色や模様で背景を描く。 (主)羊を描くことに興味をもって、制作活動に取り組む。
	12				
三 学 期	1	【デザイン】 色や模様のイメージを考えて	20	○コラージュ技法で季節に合う絵をデザインし、カレンダー用のイラストを制作する。 ◆季節の風物詩を知り、カレンダーに使う絵に合う色や模様を選んで絵を制作することができる。	(知)季節の風物詩について知り、カレンダーに使う絵に合う色や模様を選ぶ。 (思)絵や模様の並べ方を考えたり、背景色によって絵の見え方が異なることを感じ取る。 (主)カレンダーの絵の制作に関心をもち、進んで制作や鑑賞に取り組む。
	2				
	3				
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に合わせて、扱いやすい材料や道具、指導方法の工夫をする。 ・生徒の体の動きに合わせて、道具の位置や制作時の姿勢に配慮する。 ・生徒の実態に合った資料を用意し、イメージをもって制作できるようにする。 	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	保健体育	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	78 単位時間
年間指導目標	(知)各種の運動の楽しさや喜びに触れ、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 (思)各種の運動や健康な生活における自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。 (学)各種の運動にすすんで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:松木克美、熊谷賢二、後藤理沙、新田真、長岡優花、中山潤、阿部由香梨				
使用教科書	イラスト版からだのつかい方・ととのえ方 子供とマスターする45の操体法(合同出版)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標(評価の観点) (知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	「体づくり運動」	6	○体ほぐし運動 ◆様々な運動に親しみながら、全身をバランスよく動かし、体力の向上と運動習慣の形成を図る。	(知) 身体の各部位を意識して動かそうとしている。 (思)リズムやタイミングを工夫しながら身体を動かそうとしている。 (主)友達と協力しながら運動することができる。
	5	「陸上」	10	○投てき ◆投てきの能力を養う。投げる力や技能を身に付ける。	(知) ルールを理解して走競技や投てき競技へ参加することができる。 (思) 自己の課題を見つけ、解決へ向けて工夫することができる。 (主)記録の向上を目指し主体的に運動へ参加することができる。
	6	「陸上」	8	○投てき ◆投てきの能力を養う。投げる力や技能を身に付ける。	(知) ルールを理解して走競技や投てき競技へ参加することができる。 (思) 自己の課題を見つけ、解決へ向けて工夫することができる。 (主)記録の向上を目指し主体的に運動へ参加することができる。
	7	「水泳」	4	○水中でのリラクゼーション、呼吸法、泳法の基礎 ◆水中でのリラクゼーションや呼吸法、泳法の基礎に親しみ、水に慣れながら心身の緊張を和らげ、安全に活動する力を養う。	(知) 水中で力を抜いて浮くことができる。 (思) 水中での力の抜き方や呼吸法について知ることができる。 (主)泳法を理解して泳ぐことができる。
二学期	9	「水泳」	8	○水中でのリラクゼーション、呼吸法、泳法の基礎 ◆水中でのリラクゼーションや呼吸法、泳法の基礎に親しみ、水に慣れながら心身の緊張を和らげ、安全に活動する力を養う。	(知) 水中で力を抜いて浮くことができる。 (思) 水中での力の抜き方や呼吸法について知ることができる。 (主)泳法を理解して泳ぐことができる。
	10前半	「武道」(柔道)	4	○受け身 ◆身体の使い方や姿勢に気を付けながら運動し、けがの予防につながる動きを身に付ける。	(知) 柔道の歴史や基本動作などについて知り、理解を深めることができる。 (思) 身体の使い方を考えることができる。 (主)いろいろな受け身の方法を身に付けようとしている。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	「武道」(柔道) 「保健」	6	○寝技 ◆寝技の基本動作に親しみ、相手との関わりの中で体の 使い方を工夫し、安全に動く力を養う。 ○衛生管理 ◆衛生管理の重要性を理解し、清潔を保つ行動を身に付 け、健康的な生活を送る力を養う。	(知) 柔道の歴史や基本動作などについて知り、理解を深めることができる。 (思) 身体の使い方を考えることができる。 (主) 複数の受け身の方法を身に付けようとしている。
	11	「ダンス」	8	○リズム体操 ◆音楽に合わせて体を動かす楽しさを感じ、リズム感や表 現力を養う。	(知) 身体の各部位を意識して曲げたり伸ばしたりすることができる。 (思) リズムを感じながら身体を動かすことができる。 (主) 友達と一緒にダンスを踊ることができる。
	12	「ダンス」	6	○創作ダンス ◆自分のイメージや感情を動きで表現する楽しさを味わ い、創造力や表現力を養う。	(知) 身体の各部位を意識して曲げたり伸ばしたりすることができる。 (思) リズムを感じながら身体を動かすことができる。 (主) 友達と一緒にダンスを踊ることができる。
二 学 期	1	「球技」(ハンドサッカー)	6	○ドリブル、パス ◆ドリブルやパスの基本技能に親しみ、ボール操作や仲 間との連携を通して、運動の楽しさを味わうとともに協力す る力を養う。	(知) ルールを理解して運動することができる。 (思) ドリブルやパスの特性を理解することができる。 (主) 自己の課題を見つけて取り組むことができる。
	2	「球技」(ハンドサッカー)	8	○ミニゲーム ◆ゲームを通して、ドリブルやパスなどの技能を活用し、仲 間と協力しながら状況に応じた判断や動きができる力を養 う。	(知) 試合の中でドリブル、パス、シュートなどを行うことができる。 (思) 仲間や相手の動きに応じてプレーすることができる。 (主) 仲間と協力しながら試合を行うことができる。
	3	「球技」(ハンドサッカー)	4	○シュートコンテスト ◆シュートの技能を高め、的やゴールをねらって力加減や 方向を工夫しながら正確にシュートする力を養う。	(知) 課題や時間を意識してシュートすることができる。 (思) 自分に合致した課題を選択することができる。 (主) 高度な課題へ挑戦することができる。
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> ・ 手本を効果的に用いて、身体の動きのイメージをもちやすくする。 ・ 学習を繰り返し、見通しやイメージをもてるようにする。 		

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	家庭	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	74 単位時間
年間指導目標	(知)生活に対する関心を高め、将来の家庭生活に係る基礎的な技能を身に付けるようにする。				
	(思)将来の家庭生活に必要な事柄を見いだして、自分の考えを表現し課題を解決する力を養う。				
	(学)様々な人と協働し、よりよい家庭、社会生活の実現に向けて、工夫し考えようとする態度を養う。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員: 上野はつえ、熊谷賢二、後藤理沙、新田真、長岡優花 学校介護職員: 中山潤、阿部由香梨				
使用教科書	家庭科の教科書 小学校低学年～高学年(山と溪谷社)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容	単元の目標(評価の観点)	
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力	(主) 主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	ガイダンス 家庭生活に必要な用具	6	○一年間の学習予定の確認。 ○衣・食・住に必要な用具の学習、家電製品を調べよう。 ◆一年間の学習に見通しをもつ。 ◆身近な生活用具の正しい使い方を知り、使えるようになる。	(知)家庭生活で用いる主な用具の名称・用途・安全な使い方を理解し、基本操作ができる。 (思)調理・洗濯・掃除等の場面に応じて適切な用具を選び、使い分けの理由を説明できる。 (主)安全に配慮しながら身近な用具を進んで扱おうとする。	
	5	家庭生活に必要な用具	6	○衣・食・住に必要な用具の学習、家電製品を使ってみよう。 ◆生活用具の正しい使い方を知り、使えるようになる。	(知)家庭生活で用いる主な用具の名称・用途・安全な使い方を理解し、基本操作ができる。 (思)調理・洗濯・掃除等の場面に応じて適切な用具を選び、使い分けの理由を説明できる。 (主)安全に配慮しながら身近な用具を進んで扱おうとする。	
	6	調理学習	8	○ポップコーンを作ろう、みそを作ろう、ご飯を炊こう、アルファ化米と比べてみよう、うどんを作ろう。 ◆調理学習を通して、食材の特性や栄養素について知る。 ◆基本的な調理操作について知る、実践する。	(知)ポップコーンを作ろう、みそを作ろう、ご飯を炊こう、アルファ化米と比べてみよう、うどんを作ろうに関わる栄養・衛生・器具の扱いなどの基礎知識を理解し、基本的な調理操作ができる。 (思)食材の特性や手順を踏まえ、効率的で安全な調理計画を立てられる。 (主)安全・衛生に気を付けて調理に主体的に取り組もうとする。	
	7	調理学習	6	○クッキーを焼こう、みそを開こう。 ◆調理学習を通して、食材の特性や栄養素について知る。 ◆基本的な調理操作について知る、実践する。	(知)ポップコーンを作ろう、クッキーを焼こう、に関わる基礎知識(栄養・衛生・器具の扱い)を理解し、基本的な調理操作ができる。 (思)食材の特性や調理の手順を踏まえ、効率的で安全な調理計画を立てられる。 (主)安全・衛生に気を付けて調理に主体的に取り組もうとする。	
二学期	9	被服 小物製作	8	○パンチニードル刺繍でミニラグを作ろう。 ◆製作に必要な用具の使い方、手順を理解して作業をすることができる。	(知)被服制作、パンチニードル刺繍でミニラグを作ろうの要点(用語・手順)を具体的に理解する。 (思)学習内容を自分の生活場面に当てはめ、適切な行動を選択できる。 (主)日常生活で製作した小物を活用しようとする。	
	10 前半	被服 小物製作	4	○デザインオリジナルTシャツを作ろう。 ◆Tシャツをデザインする。	(知)被服制作、デザインオリジナルTシャツを作ろうの要点(用語・手順)を具体的に理解する。 (思)学習内容を自分の生活場面に当てはめ、適切な行動を選択できる。 (主)Tシャツを着る場面を想像し、自分らしさを表現しようとする。	

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	被服 小物製作	4	○デザインオリジナルTシャツを作ろう。 ◆アイロンを使って自分でデザインしたプリントを貼る。	(知)被服制作、デザインオリジナルTシャツを作ろうの要点(用語・手順)を具体的に理解する。 (思)学習内容を自分の生活場面に当てはめ、適切な行動を選択できる。 (主)Tシャツを着る場面を想像し、自分らしさを表現しようとする。
	11	衣服の洗濯、手入れ、アイ ロンかけ	6	○衣服の役割、手入れ方法、衣服の洗濯表示を見て意味 を調べよう。 ◆衣服の役割について知る。 ◆季節に応じた衣服の選び方を身につける。	(知)洗濯表示の記号の意味や衣服素材に応じた手入れ方法を理解し、洗濯・乾燥・アイロンかけの基本操作ができる。 (思)汚れの種類や素材に応じて適切な洗い方や干し方を選択し、手順を組み立てることができる。 (主)自分の衣服の手入れを継続して行おうとする。
	12	衣服の洗濯、手入れ、アイ ロンかけ	8	○手入れ方法の学習、アイロンをかけよう、洗濯をしよう。 ◆衣服の手入れ方法について知る。 ◆衣服の洗濯方法について知る、実践する。	(知)洗濯表示の記号の意味や衣服素材に応じた手入れ方法を理解し、洗濯・乾燥・アイロンの基本操作ができる。 (思)汚れの種類や素材に応じて適切な洗い方や干し方を選択し、手順を組み立てられる。 (主)自分の衣服の手入れを継続して行おうとする。
二 学 期	1	整理整頓	2	○身の回りを整理する方法を調べよう、教室を整理しよう。 ◆カバンや机、ロッカーの中などを整理できるようになる。	(知)整理整頓、身の回りを整理する方法を調べよう、教室を整理しようの要点(用語・手順)を具体的に理解する。 (思)学習内容を自分の生活場面に当てはめ、適切な行動を選択できる。 (主)自分の身の回りに関心をもち、整理しようとする。
	2	衛生管理	8	○教室を掃除しよう。 ◆掃除用具の正しい、効率的な使い方を理解し、実践する。 ○身だしなみを整えよう(からだの洗い方)。 ◆手足の洗い方や、身だしなみの整え方について理解する。	(知)掃除、教室を掃除しよう、清潔、身だしなみを整えよう(からだの洗い方)の要点(用語・手順)を具体的に理解する。 (思)学習内容を自分の生活場面に当てはめ、適切な行動を選択できる。 (主)自分の身の回りに関心をもち、整理しようとする。手足の洗い方や身だしなみについて意識をもつ。
	3	衛生管理	8	○身だしなみを整えよう(朝の身支度)。 ◆身だしなみを整える大切さに気付き、自分を鏡で見て確 認し、身だしなみを意識してできるようになる。	(知)清潔、身だしなみを整えよう(朝の身支度)の要点(用語・手順)を具体的に理解する。 (思)学習内容を自分の生活場面に当てはめ、適切な行動を選択できる。 (主)日常的に自分の姿を鏡で見るなど、身だしなみを意識する。
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって身近な事柄を題材にする。 ・具体物を提示し興味をもちやすいようにする。 ・安全にできるよう、生徒の実態に合わせた用具を用意する。 ・生徒の実態に応じて用具を準備する。手順をイラストや動画などで分かりやすくする。 		

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	外国語	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	38 単位時間
年間指導目標	(知)日本語と外国語の音声の違いに気付き、英語の音声や表現に親しむ。				
	(思)目的や場面に応じて、英語を聞いたり話したりして、表現する。				
	(学)言語やその背景にある文化の理解を深め、主体的に英語でコミュニケーションを図ろうとする。				
	※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:熊谷賢二、後藤理沙、新田真、長岡優花 学校介護職員:中山潤、阿部由香梨				
使用教科書	Enjoy English①(日本トータルアカデミー)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標(評価の観点)
					(知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	英語で挨拶をしよう①	3	○時間帯や場面に応じた挨拶の表現を覚えて、友達と英語で話す。 ◆時間帯や場面に応じた挨拶表現を理解し、友達と英語でやり取りできるようにする。	(知)挨拶の表現を英語で伝えることができる。 (思)挨拶の表現を選ぶことができる。 (学)相手に英語で挨拶しようとする。
	5	英語で挨拶をしよう②	4	○「元気ですか?」と英語で尋ねたり、自分の体調を英語で答えたりする。 ◆あいさつや簡単なやり取りを通して、相手の様子を尋ねたり、自分の体調を英語で伝えたりする力を育てる。	(知)英語で「元気ですか?」と質問することができる。 (思)自分の体調を判断して英語で答えることができる。 (学)相手の体調を英語で尋ねようとする。
	6	月、曜日、天気 of 英語	4	○月や曜日、天気 of 英単語を知り、今日の日付や天気を英語で言うことができる。 ◆月・曜日・天気 of 基本的な語彙に親しみ、日付や天気を英語で表現する力を養う。	(知)月、曜日、天気を英語で伝えることができる。 (思)今日の曜日や天気を正しく選ぶことができる。 (学)今日の曜日や天気を英語で相手に伝えようとする。
	7	自己紹介をしよう	2	○自分の名前や年齢、好きなことなどを、英語で言うことができる。 ◆自己紹介に関する基本的な表現を身に付け、自分のことを英語で伝える力を育てる。	(知)「私は～です。」を使い、英語で自分のことが言える。 (思)相手に伝えることを考えて、英語にすることができる。 (学)自分のことを、英語で相手に伝えようとする。
二学期	9	動きを表す言葉	4	○動作の表現を理解して覚え、ジェスチャーやダンスで動きを表現できる。 ◆動作を表す英語表現に親しみ、ジェスチャーやダンスなどの身体表現を通して理解を深める。	(知)動作の表現を英語で理解して伝えることができる。 (思)動作を見て、英語で正しく言うことができる。 (学)動作の英語を聞いて、身体を動かして表現しようとする。
	10前半	動きを表す言葉	3	○動作の表現を理解して覚え、ジェスチャーやダンスで動きを表現できる。 ◆動作を表す英語表現に親しみ、ジェスチャーやダンスなどの身体表現を通して理解を深める。	(知)動作の表現を英語で理解して伝えることができる。 (思)動作を見て、英語で正しく言うことができる。 (学)動作の英語を聞いて、身体を動かして表現しようとする。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
二 学 期	10 後 半	身体の部位を表す言葉	2	○身体の部位を表す言葉を覚えて、英語で聞いた部位を自分で指し示すことができる。 ◆身体の部位を表す英語に親しみ、聞いた言葉に合わせて適切に体で表現する力を育てる。	(知) 身体の部位の単語を覚え、英語で伝えることができる。 (思) 身体の部位の単語を聞き、自分で指し示すことができる。 (学) 身体の部位を自分で指し示して、相手に伝えようとする。
	11	外国の文化を知ろう	4	○ハロウィンやクリスマス等の外国の行事を知り、外国の文化に親しむことができる。 ◆外国の年中行事に触れ、文化の違いに親しみながら興味・関心を広げる。	(知) 外国の文化の様子や雰囲気を知る。 (思) 外国の文化を知って、自分の感想を言うことができる。 (学) 外国の文化に自分から関心をもって関わろうとする。
	12	食べ物の英語	3	○果物や料理の名前の英語を知り、自分の好きな物を英語で言ったり、相手の好きな食べ物を尋ねることができる。 ◆食べ物に関する語彙を身に付け、好きな物を伝えたり、相手に尋ねたりするやり取りの力を育てる。	(知) 果物や料理を知り、英語で言う(伝える)ことができる。 (思) 自分の好きな物を選び、英語で言う(伝える)ことができる。 (学)好きな物を相手に伝えたり、相手に尋ねようとする。
三 学 期	1	お店で買い物をしよう	3	○お店のお客役になり、英語でやりとりをすることができる。 ◆買い物場面の簡単な表現に慣れ、英語でやり取りする力を養う。	(知) 買い物する時の表現を英語で言う(伝える)ことができる。 (思) 自分の買いたい物を選び、英語で伝えることができる。 (学) 店員に自分の要求を英語で伝えようとする。
	2	道を尋ねよう	4	○英語で道を尋ねたり、教えたりすることができる。 ◆道案内に関する基本的な表現を理解し、英語で尋ねたり伝えたりする力を育てる。	(知) 道を尋ねたり教えたりする表現を理解できる。 (思) 正しい道順を選んで、英語で伝えることができる。 (学) 学習事項を活用してを尋ねたり、教えたりしようとする。
	3	一年間の復習	2	○一年間で学んだ英語の表現や単語を使って、友達と英語でやりとりすることができる。 ◆既習の語彙や表現を活用し、相手と英語で関わるコミュニケーション力を高める。	(知) 学習した表現や単語を思い出し英語で言うことができる。 (思) 自分の伝えたいことを英語で表現することができる。 (学) 英語で周囲の人と積極的にやりとりしようとする。
そ の 他	通 年	外国語指導助手(ALT)との授業		<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手と英語でやりとりしたり、ゲームや歌などの活動をする。 ・外国の人と触れ合い、外国のことに興味・関心をもつ。 	
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に応じて、個別の課題を用意する。 ・具体物や写真、映像を提示して、言葉とイメージを結びつけられるようにする。 	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	総合的な探究の時間	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	37 単位時間
年間指導目標	(知)課題の解決に必要な知識・技能を身に付け、探求的な学習のよさを理解する。 (思)社会や生活と自己の関わりから課題を発見し、解決のために情報を集め表現することができる。 (学)互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、協同的・積極的に参加しようとする態度を養う。 ※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:熊谷賢二、後藤理沙、新田真、長岡優花 学校介護職員:中山潤、阿部由香梨				
使用教科書	なし				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点） (知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	オリエンテーション 自己PR	3	○学習予定の確認 ◆学習の見通しをもち、主体的に活動へ取り組む態度を育てる。 ○自分の長所や魅力 ◆自分の長所や魅力に気付き、それを他者に適切に伝える力を育成する。	(知) 自分の特徴や良さについて具体的に挙げることができる。 (思) 相手に伝わるように内容を選び、順序立てて表現することができる。 (主) 自分のことを進んで振り返り、伝えようとする。
	5	生徒会活動	4	○生徒会活動とは何だろう。 ◆生徒会活動への理解を深め、主体的に行動するとともに、協働することの意義を考える力を養う。	(知) 生徒会活動の目的や役割、学校生活との関わりを理解することができる。 (思) 集団の中での協力や役割分担について、自分の立場で考えることができる。 (主) 学校生活をより良くするための活動に関心をもち、関わろうとする。
	6	本の魅力	3	○本のよさについて意見を出し合う。 ◆本の魅力やよさに気付き、それについて考察する力を育てる。	(知) 本の内容や特徴、魅力となる点を具体的に捉えることができる。 (思) 本の良さを整理し、相手に伝わるようにまとめることができる。 (主) 読書活動に進んで取り組み、自分の考えを伝えようとする。
	7	本の魅力	3	○本の良さについて考 ◆本の魅力や良さに気付き、それについて考察する力を育てる。	(知) 本の内容や特徴、魅力となる点を具体的に捉えることができる。 (思) 本の良さを整理し、相手に伝わるようにまとめることができる。 (主) 読書活動に進んで取り組み、自分の考えを伝えようとする。
二学期	9	夏休みの体験	3	○夏休みの生活を振り返る ◆自分の体験や考えを振り返り、整理して他者に分かりやすく伝える力を養う。	(知) 夏休みに体験したことについて内容を振り返ることができる。 (思) 夏休みに体験したことについて自分の考えをもつことができる。 (主) 積極的に発表に取り組もうとする。
	10 前半	「本の魅力」を伝えよう。	2	○好きな本の魅力を他者へ伝える。 ◆自分の好きなもののよさを相手に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。	(知) 本の内容や特徴、魅力となる点を具体的に捉えることができる。 (思) 本のよさを整理し、相手に伝わるようにまとめることができる。 (主) 読書活動に進んで取り組み、自分の考えを伝えようとする。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	「本の魅力」を伝えよう。	2	○好きな本の魅力を他者へ伝える。 ◆自分の好きなもののよさを相手に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。	(知) 本の内容や特徴、魅力となる点を具体的に捉えることができる。 (思) 本のよさを整理し、相手に伝わるようにまとめることができる。 (主) 読書活動に進んで取り組み、自分の考えを伝えようとする。
	11	お話会の企画、開催	4	○お話会についての企画、運営、お話会の開催を協力して行う。 ◆お話会の企画・運営・実施を通して、協力して活動する力や主体性を育成する。	(知) お話会についての企画、運営、お話会の開催を協力して行うことに関する内容を理解することができる。 (思) お話会についての企画、運営、お話会の開催を協力して行うことについて自分の考えをもつことができる。 (主) お話会についての企画、運営、お話会の開催を協力して行うことに関心をもち、取り組もうとする。
	12	お話会の企画、開催	4	○お話会についての企画、運営、お話会の開催を協力して行う。 ◆お話会の企画・運営・実施を通して、協力して活動する力や主体性を育成する。	(知) お話会についての企画、運営、お話会の開催を協力して行うことに関する内容を理解することができる。 (思) お話会についての企画、運営、お話会の開催を協力して行うことについて自分の考えをもつことができる。 (主) お話会についての企画、運営、お話会の開催を協力して行うことに関心をもち、取り組もうとする。
三 学 期	1	冬休みの体験	3	○冬休みの生活を振り返る ◆自分の体験や考えを振り返り、整理して他者に分かりやすく伝える力を養う。	(知) 冬休みに体験したことについて内容を振り返ることができる。 (思) 冬休みに体験したことについて自分の考えをもつことができる。 (主) 積極的に発表に取り組もうとする。
	2	生活習慣を振りかえってみよう	3	○生活習慣チェック表作り ◆自己の生活習慣を見直し、望ましい生活の在り方について考える力を育てる。	(知) 生活習慣チェック表作りに関する内容を理解することができる。 (思) 生活習慣チェック表作りについて自分の意見をもつことができる。 (主) 生活習慣チェック表作りに関心をもち、取り組もうとする。
	3	進路学習	3	○進路について考える ◆自分の将来や進路について関心をもち、主体的に考える態度を養う。	(知) 進路について考えることに関する内容を理解することができる。 (思) 進路について考えることについて自分の考えをもつことができる。 (主) 進路について考えることに関心をもち、取り組もうとする。
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用いて主体的に発表できるようにする。 ・発表、発言の機会を多く設ける。 ・他の例示からヒントを得られるようにする。 ・ICT機器を使用して文字や絵を伝えられるようにする。 ・自分の意見や考えを整理して、集団の中で伝えられる発表の場を設ける。 ・活動内容や役割分担を明確にする。 ・グループワークを設定し、他者と意見交換ができるようにする。 ・ICT機器を使用して一人で発表することができるようにする。 ・1年間の個々の学習の様子や役割を写真で提示し、具体的にイメージできるようにする。 	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	
教科等名	特別活動	グループ名		年間授業時数	37 単位時間
年間指導目標	(知)友達や教職員との関わりの中で、コミュニケーションの基本を身に付ける。				
	(思)仲間と協力しながら、自分の役割を考えて行動する。				
	(学)活動に積極的に参加し、最後までやり遂げる力を身に付ける。				
	※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教諭:熊谷賢二 後藤理沙 細貝正輝 津田直子 学校介護職員:井上智佳子 中山潤				
使用教科書	なし				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	高等部のスタート	3	1年生の集団紹介、1年間の行事紹介、係活動決め等 ◆共に学ぶ仲間や1年間の活動を知り見通しをもつ。	(知)新しい教職員や友達の名前を覚える。 (思)自己紹介で自分を表現する。 (主)新しい教職員や友達に興味をもち、進んで関わる。
	5	仲間と一緒に活動しよう	3	○レクリエーション活動(個人戦) ◆友達と一緒に積極的に活動に取り組む。	(知)レクリエーションの内容を理解する。 (思)友達が頑張っている姿を見て、応援をする。 (主)レクリエーション活動に積極的に参加する。
	6	仲間と協力して活動しよう	3	○レクリエーション活動(チーム対抗戦) ◆友達と協力して活動することができる。	(知)チームでの活動を理解する。 (思)役割分担や作戦について話し合い、決定する。 (主)仲間と協力して活動する喜びを感じる。
	7	移動教室に向けて	3	○移動教室に向けた準備 ◆宿泊先や見学先、日程を知り、自分に合った係を選ぶことができる。	(知)宿泊先や見学先、行程を知る。 (思)自分に合った役割を考え、係の仕事を選ぶ。 (主)移動教室に興味をもち、意欲的に準備に取り組む。
二 学 期	9	移動教室を振り返ろう	3	○移動教室の振り返り ◆移動教室での活動を思い出しながら、ポスターを制作し、楽しかったことや頑張ったことを発表することができる。	(知)自分の行った活動を思い出すことができる。 (思)楽しかったことや頑張ったことを発表する。 (主)興味をもってポスターを制作したり、発表したりする。
	10 前半	仲間と一緒に活動しよう	3	○レクリエーション活動 ◆友達とのコミュニケーション方法を学び、協力して活動することができる。	(知)友達と関わるためのコミュニケーション方法を学ぶ。 (思)自分の役割を考え、友達と協力して活動する。 (主)友達と一緒に活動することを楽しむ。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
二 学 期	10 後 半	仲間と一緒に活動しよう	7	○レクリエーション活動 ◆友達とのコミュニケーション方法を学び、協力して活動することができる。	(知) 友達と関わるためのコミュニケーション方法を学ぶ。 (思) 自分の役割を考え、友達と協力して活動する。 (主) 友達と一緒に活動することを楽しむ。
	11				
	12	学期のまとめ	3	○2学期の振り返り ◆2学期の活動を思い出し、頑張ったことを発表することができる。	(知) 2学期に行った活動を思い出す。 (思) シートにまとめ、頑張ったこと等を発表する。 (主) 自分だけでなく友達が頑張ったことにも興味をもつ。
三 学 期	1	仲間と一緒に活動しよう	6	○レクリエーション活動 ◆友達とのコミュニケーション方法を学び、協力して活動することができる。	(知) 友達と関わるためのコミュニケーション方法を学ぶ。 (思) 自分の役割を考え、友達と協力して活動する。 (主) 友達と一緒に活動することを楽しむ。
	2				
	3	1年間のまとめ	4	○一年間の振り返り ◆一年間の活動を思い出し、頑張ったことを発表することができる。次年度への期待感を高めていく。	(知) 一年間の活動を思い出す。 (思) シートにまとめ、頑張ったこと等を発表する。 (主) 自分だけでなく友達が頑張ったことにも興味をもつ。
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> ・学年の友達や教職員を意識できるように、適宜、集団での活動を設定する。 ・事前学習や振り返り、まとめの際は、写真等を使い、視覚化する。 ・まとめや振り返り際には、活動をまとめたポスターや振り返りシートを基に、一人一人発表する場面を設定する。 		

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	自立活動	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	262 単位時間
年間指導目標	(知)自分の身体の状態を理解し、身体の使い方や整え方を身につける。 (思)身体の取り組みなどの手立てを相談し、考えることができる。 (学)学習上又は生活上の困難を主体的に改善しようとする態度を養う。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:熊谷賢二、後藤理沙、新田真、長岡優花、福永映子、藤原千嘉 学校介護職員:中山潤、阿部由香梨				
使用教科書	なし				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標(評価の観点) (知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	《通年》 個に応じた取り組み	131	○体位変換やストレッチ ○姿勢の保持 ◆健康を保持するために必要な能力を身に付ける。 ○好きな活動や安心できる環境の選択 ○不安や緊張を感じた時の対処 ◆心理的に安定した生活を送ることができる。 ○コミュニケーション機器の活用 ◆人と関わる力を高める。 ○音や光の刺激への対処 ◆周囲の環境を把握し対応する力を付ける。 ○上肢・下肢の可動域を広げる運動 ○歩行 ○手指の操作 ◆基本的な姿勢や動きを身に付ける ○コミュニケーション機器等を使った意思表示 ◆コミュニケーション能力を高める。	(知) ・体位変換やストレッチ、姿勢保持などの基本的な身体の使い方を理解し、行うことができる。 ・音や光などの環境刺激に気づき、適切な対処方法を身に付けている。 ・上肢・下肢の運動や歩行、手指操作などの基本的な動きを身に付けている。 ・コミュニケーション機器の使い方を理解し、意思表示に活用できる。 (思) ・自分の体調や状態に応じて、適切な姿勢や動き方を選ぼうとしている。 ・不安や緊張を感じた際に、自分に合った方法を選んで気持ちを整えようとしている。 ・周囲の環境の変化に気づき、どのように対応すればよいか判断している。 ・コミュニケーション機器等を活用し、自分の気持ちや要求を伝えている。 (主) ・安心できる活動や環境を選びながら、落ち着いて活動に参加しようとしている。 ・身体を動かす活動や姿勢保持に継続して取り組もうとしている。 ・人と関わることや意思表示を行う活動に進んで参加しようとしている。 ・支援を受けながら、自分に合った方法で生活しようとする姿勢が見られる。
	5	1 健康の保持			
	6	2 心理的な安定			
	7	3 人間関係の形成			
	7	4 環境の把握			
二学期	9	5 身体の動き			
	10前半	6 コミュニケーション			

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	《通年》 個に応じた取り組み	131	<ul style="list-style-type: none"> ○体位変換やストレッチ ○姿勢の保持 ◆健康を保持するために必要な能力を身に付ける。 ○好きな活動や安心できる環境の選択 ○不安や緊張を感じた時の対処 ◆心理的に安定した生活を送ることができる。 ○コミュニケーション機器の活用 ◆人と関わる力を高める。 ○音や光の刺激への対処 ◆周囲の環境を把握し対応する力を付ける。 ○上肢・下肢の可動域を広げる運動 ○歩行 ○手指の操作 ◆基本的な姿勢や動きを身に付ける ○コミュニケーション機器等を使った意思表示 ◆コミュニケーション能力を高める。 	<p>(知)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体位変換やストレッチ、姿勢保持などの基本的な身体の使い方を理解し、行うことができる。 ・音や光などの環境刺激に気付き、適切な対処方法を身に付けている。 ・上肢・下肢の運動や歩行、手指操作などの基本的な動きを身に付けている。 ・コミュニケーション機器の使い方を理解し、意思表示に活用できる。 <p>(思)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の体調や状態に応じて、適切な姿勢や動き方を選ぼうとしている。 ・不安や緊張を感じた際に、自分に合った方法を選んで気持ちを整えようとしている。 ・周囲の環境の変化に気付き、どのように対応すればよいか判断している。 ・コミュニケーション機器等を活用し、自分の気持ちや要求を伝えている。 <p>(主)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心できる活動や環境を選びながら、落ち着いて活動に参加しようとしている。 ・身体を動かす活動や姿勢保持に継続して取り組もうとしている。 ・人と関わることや意思表示を行う活動に進んで参加しようとしている。 ・支援を受けながら、自分に合った方法で生活しようとする姿勢が見られる。
	11	1 健康の保持			
	12	2 心理的な安定			
二 学 期	1	3 人間関係の形成			
	1	4 環境の把握			
	2	5 身体の動き			
	2	6 コミュニケーション			
	3				
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に見通しがもてるよう、活動の流れを確立させる。 ・個々の状況に合わせて、達成感がもてるよう補助具等を用意する。 ・校医（整形外科）、外部専門家と連携を図りながら継続的に取り組めるようにする。 	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	日常生活の指導	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	188 単位時間
年間指導目標	(知)日常生活の諸活動を身につけ、周囲の状況に合わせて活動できる。				
	(思)授業の開始の時間を意識するなどの生活習慣を身につける。				
	(学)各教科の予習・復習や連絡帳の記入、個別課題に取り組む態度を養う。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:熊谷賢二、後藤理沙、新田真、長岡優花 学校介護職員:中山潤、阿部由香梨				
使用教科書	なし				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	自己課題に取り組む 排せつ・衛生指導 摂食指導 身だしなみ マナー (通年)	95	<ul style="list-style-type: none"> ○食事(姿勢・食具の扱い・マナー) ○排せつ(タイミング・介助の受け方・意思表示) ○更衣(衣服の選択・着脱) ○清潔(手洗い・歯みがき・整容) ◆自分の身体や生活に関わる基本的な行動を身に付ける。 ◆できることを増やし、自立的な生活能力を高める。 ◆周囲に適切に援助を求めたり、受けたりできるようにする。 	(知) ・日常生活に必要な基本的な生活習慣や技能を身に付けている。 ・食事・更衣・排泄・清潔などの方法を理解し、実際に行うことができる。 ・健康や安全に関する基礎的な知識を理解し、行動に生かしている。 ・コミュニケーション手段(言葉・指差し・機器など)を適切に使うことができる。 (思) ・自分の体調や気持ち、状況に応じて適切な行動を選択している。 ・必要に応じて援助を求めたり、意思表示をしたりしている。 ・身だしなみ・マナー・安全行動などの適切な行動を判断している。 ・自分の意思や要求、感情を様々な方法で表現している。 (主) ・日常生活の課題に見通しをもって主体的に取り組もうとしている。 ・できることを増やそうと意欲的に行動している。 ・習慣化に向けて継続的に取り組んでいる。 ・周囲の人と関わりながら生活しようとしている。
	5				
	6				
	7				
二学期	9				
	10前半				

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	自己課題に取り組む 排せつ・衛生指導 摂食指導 身だしなみ マナー (通年)	93	○食事(姿勢・食具の扱い・マナー) ○排せつ(タイミング・介助の受け方・意思表示) ○更衣(衣服の選択・着脱) ○清潔(手洗い・歯みがき・整容) ◆自分の身体や生活に関わる基本的な行動を身に付ける。 ◆できることを増やし、自立的な生活能力を高める。 ◆周囲に適切に援助を求めたり、受けたりできるようにする。 ○服装の選択(場に合った服) ○整容(髪・顔・爪など) ○あいさつ、返事 ○公共の場での基本的なルール ◆社会の一員として望ましい行動を身に付ける。 ◆周囲の人と心地よく関わる基礎を育てる。 ◆生活場面に応じた行動の切り替えができるようにする。	(知) ・日常生活に必要な基本的な生活習慣や技能を身に付けている。 ・食事・更衣・排泄・清潔などの方法を理解し、実際に行うことができる。 ・健康や安全に関する基礎的な知識を理解し、行動に生かしている。 ・コミュニケーション手段(言葉・指差し・機器など)を適切に使うことができる。 (思) ・自分の体調や気持ち、状況に応じて適切な行動を選択している。 ・必要に応じて援助を求めたり、意思表示をしたりしている。 ・身だしなみ・マナー・安全行動などの場面に応じた行動を判断している。 (主) ・自分の意思や要求、感情を様々な方法で表現している。 ・日常生活の活動に主体的に取り組もうとしている。 ・できることを増やそうと意欲的に行動している。 ・習慣化に向けて継続的に取り組んでいる。 ・周囲の人と関わりながら生活しようとしている。
	11				
	12				
二 学 期	1				
	2				
	3				
指導の工夫 学習時の配慮事項等				・生徒個々の生活リズムを担当教職員で共有し、生徒が自分の意志や要求を伝えられるような関わりやすい指導体制を整える。 ・生徒が安定した学校生活を送ることができるよう、食前・食後の手順を明確にする。 ・自分で準備や片付けができるように滑り止めなどの教具の工夫をする。	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	生活単元学習	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	38 単位時間
年間指導目標	(知)様々な活動を通して、自分、身近な人、社会、自然に関心をもち、生活において基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思)植物の成長の観察、季節行事を通して自然の変化や季節を感じ、興味・関心の幅を広げることができる。 (学)教職員と一緒に様々な活動を楽しみながら、生活経験の幅を広げていく。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:熊谷賢二、後藤理沙、新田真、長岡優花 学校介護職員:中山潤、阿部由香梨				
使用教科書	「イラスト版子どものお手伝い子どもとマスターする49の生活技術」(合同出版)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標(評価の観点) (知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	1学期の予定・目標	4	○1学期の学習や行事について知る。 ○楽しみなことや頑張りたいことを発表する。 ◆1学期の予定を知り、見通しをもつ。 ◆楽しみや目標を考え、伝える。	(知)1学期の学習や行事に見通しをもつことができる。 (思)1学期の目標をもつことができる。 (主)目標や楽しみなことを、発表できる。
	5	身だしなみ	4	○清潔で整った身だしなみの方法を知り、実践する。 ◆身だしなみへの関心を高め、習慣化する。	(知)身だしなみの基本について理解する。 (思)自分の状態を振り返りながら整え、必要に応じて言葉や行動で表現することができる。 (主)身だしなみを整えることの大切さに気付き、自分から実践しようとする。
	6	社会見学事前学習	3	○行き先や活動内容の理解をする。 ○公共の場でのきまりやマナーを学ぶ。 ◆社会見学の内容を知り、活動の見通しをもち、適切に行動する。	(知)社会見学時の内容やルールを知ることができる。 (思)社会見学の目標をもつことができる。 (主)目標や楽しみなことを発表できる。
	7	栽培	3	○植物を育てる(種まき、苗植え、水やり、間引き、収穫、観察) ◆植物の成長の様子に関心をもち、育てる活動に継続して取り組む。	(知)栽培の知識や技術を身につける。 (思)植物の変化に気付き、生育について発表できる。 (主)植物が育つ様子に興味をもち、進んで観察したり世話をしたりする。
二 学 期	9	2学期の予定・目標	3	○2学期の学習や行事について知る。 ○楽しみなことや頑張りたいことを発表する。 ◆2学期の予定を知り、見通しをもつ。 ◆楽しみや目標を考え、伝える。	(知)2学期の学習や行事に見通しをもつことができる。 (思)2学期の目標をもつことができる。 (主)目標や楽しみなことを、発表できる。
	10 前半	社会見学事後学習	2	○社会見学での体験を振り返る。 ◆気付いたことや感想を表現する。 ◆経験を共有し、伝える力を高める。	(知)社会見学時の写真を見て、活動を思い出す。 (思)社会見学の目標を振り返ることができる。 (主)学んだことや楽しかったことを発表できる。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	お楽しみ会の企画・実施	10	<p>○お楽しみ会の計画、準備、実施をする。</p> <p>◆お楽しみ会の計画から実施までの流れを理解し、見通しをもって活動に取り組むことができる。</p> <p>◆役割分担や準備を通して、協力して活動する。</p>	<p>(知) お楽しみ会に必要な係を知り、自分ができる方法で行う。</p> <p>(思) グループの友達のことを考え、みんなが楽しめる活動を考える。</p> <p>(主) 進んで担当する係の仕事をしたり、友達と一緒に活動を楽しんだりする。</p>
	11				
	12				
三 学 期	1	3学期の予定・目標	3	<p>○3学期の学習や行事について知る。</p> <p>○楽しみなことや頑張りたいことを発表する。</p> <p>◆3学期の予定を知り、見通しをもつ。</p> <p>◆楽しみや目標を考え、伝える。</p>	<p>(知) 3学期の学習や行事に見通しをもつことができる。</p> <p>(思) 3学期の目標をもつことができる。</p> <p>(主) 目標や楽しみなことを、発表できる。</p>
	2	世界の遊び	3	<p>○世界の文化を知り、遊びの体験を広げる。</p> <p>◆世界の様々な文化に興味や関心をもつ。</p>	<p>(知) 国名や、地図上での国の場所を知る。</p> <p>(思) 活動を通して、相談、報告、ルールを守る等できる。</p> <p>(主) 新しい活動にも挑戦して、友達と一緒に楽しむ。</p>
	3	1年間まとめの会	3	<p>○1年間の学習や行事を振り返る。</p> <p>○楽しかったことや頑張ったことを発表する。</p> <p>◆楽しかったことや頑張ったことを自分なりに表現し、相手に伝える。</p>	<p>(知) 1年間の学習や行事を振り返ることができる。</p> <p>(思) 発表することを決めることができる。</p> <p>(主) 楽しかったことや頑張ったことを、発表できる。</p>
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・体験的な活動を中心に行う。 ・身近な生活技術を身に付けられるような活動を取り入れる。 ・各教科の学習内容が含まれるよう単元の内容を設定する。 	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	作業学習	グループ名	B学習グループ	年間授業時数	74 単位時間
年間指導目標	(知) 作業に必要な用具の基本的な使い方や作業手順を理解することができる。				
	(思) 将来の社会参加に向けて、生徒一人一人が生き生きと生活するために必要な意欲や態度を培い、人間関係の形成を図る。				
	(学) 図書の整理や作業を通して充実感や達成感を得る。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:熊谷賢二、後藤理沙、新田真、長岡優花 学校介護職員:中山潤、阿部由香梨				
使用教科書	なし				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点） (知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	「オリエンテーション」 「ほうれんそう」	6	○作業学習の内容について知る。 ◆作業学習の目的や内容を理解し、見通しをもって取り組むことができる。 ○報告、連絡、相談について知る。 ◆報告・連絡・相談の基礎を知り、適切に行おうとする態度を育てる。	(知) 報告や連絡、相談の仕方について理解することができる。 (思) 一年間の学習内容について見通しをもつことができる。 (主) 自分から質問や発表をしようとしている。
	5	通年 「図書の整理」 「図書館や図書コーナーの清掃」	6	○バーコードリーダーで本の返却登録をする。 ◆バーコードリーダーの使い方を理解し、正確に返却処理ができる。 ○図書館、図書コーナーに掃除機をかける。 ◆用具を安全に扱い、手順に沿って清掃することができる。	(知) 報告や連絡、相談の仕方について模倣し、声に出して言うことができる。 (思) 図書館や図書コーナーにある図書の分類や書棚への返却手順を理解し、実践することができる。 (主) 清掃の手順や新聞整理の方法について理解し、自分にできることを見付けて取り組もうとしている。
	6	「新聞の回収」 「新聞の整理」	12	○図書館、図書子コーナーの拭き掃除を行う。 ◆周囲の状況を確認しながら、丁寧に清掃することができる。	
	7	1学期の振り返り	5	○新聞と広告を分別する。 ◆手順を理解し、正確に分別することができる。	
二学期	9	通年 「図書の整理」 「図書館や図書コーナーの清掃」	6	○本を本棚へ返却する。 ◆本の配置場所を確認し、正しい位置に戻すことができる。 ○図書館、図書コーナーに掃除機をかける。 ◆用具を安全に扱い、手順に沿って清掃することができる。	(知) 報告や連絡、相談の仕方について模倣し、声に出して言うことができる。 (思) 図書館や図書コーナーにある図書の分類や書棚への返却手順を理解し、実践することができる。 (主) 清掃の手順や新聞整理の方法について理解し、自分にできることを見付けて取り組もうとしている。
	10前半	「新聞の回収」 「新聞の整理」	3		

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
二期	10 後半	通年 「図書の整理」 「図書館や図書コーナーの清掃」 「新聞の回収」 「新聞の整理」 2学期の振り返り	4	○図書館、図書子コーナーの拭き掃除を行う。 ◆周囲の状況を確認しながら、丁寧に清掃することができる。 ○新聞と広告を分別する。 ◆手順を理解し、正確に分別することができる。 ○新聞棚を整理する。 ◆並べ方や順序を意識し、見やすく整えることができる。	(知) 報告や連絡、相談の仕方について模倣し、声に出して言うことができる。 (思) 図書館や図書コーナーにある図書の分類や書棚への返却手順を理解し、実践することができる。 (主) 清掃の手順や新聞整理の方法について理解し、自分にできることを見付けて取り組もうとしている。
	11		4		
	12		8		
三期	1	通年 「図書の整理」 「図書館や図書コーナーの清掃」 「新聞の回収」 「新聞の整理」 一年間の振り返り	6	○バーコードリーダーで本の返却登録をする。 ◆バーコードリーダーの使い方を理解し、正確に返却処理ができる。 ○本を本棚へ返却する。 ◆本の配置場所を確認し、正しい位置に戻すことができる。 ○本を記号や分野別に分類する。 ◆分類のルールを理解し、基準に沿って整理することができる。 ○図書館、図書コーナーに掃除機をかける。 ◆用具を安全に扱い、手順に沿って清掃することができる。 ○図書館、図書子コーナーの拭き掃除を行う。 ◆周囲の状況を確認しながら、丁寧に清掃することができる。 ○新聞棚を整理する。 ◆並べ方や順序を意識し、見やすく整えることができる。	(知) 報告や連絡、相談の仕方について模倣し、声に出して言うことができる。 (思) 図書館や図書コーナーにある図書の分類や書棚への返却手順を理解し、実践することができる。 (主) 清掃の手順や新聞整理の方法について理解し、自分にできることを見付けて取り組もうとしている。
	2		6		
	3		8		
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> ・報告、連絡、相談の仕方について、手本を示し模倣を促す。 ・配置図や指示書などを提示し視覚的に理解できるようにする。 ・個々の操作性に合わせて用具や補助具を工夫する。 		